

KRONOS

MUSIC WORKSTATION

アップデート情報

ソフトウェア・バージョン3.0.3の新機能

KRONOSソフトウェア・バージョン3.0.3では、KRONOSエディター/プラグイン・エディター 3の対応、KRONOS/KRONOS Xのサウンド・ファイルのファクトリー・プログラムを自動的にリマップする機能、Set Listモードのスロット・トランスポーズ表示などの新機能を追加しました。

これらの新機能に加えて、さまざまな動作改善や精度向上を行っています。

ソフトウェア・バージョン3.0.3以前をお使いの方は、コルグ・ウェブサイト (<https://shop.korg.com/kronos/Support>) から無料でダウンロードすることができます。

すべてのKRONOS、KRONOS X、New KRONOSに対してアップデートすることができます。また、どのソフトウェア・バージョンからでもバージョン 3.0.3へのアップデートが可能です。

KRONOSエディター/プラグイン・エディター 3

KRONOSエディター/プラグイン・エディター 3に対応するための機能をKRONOS本体に追加します。KRONOSエディター 3を使用すると、Mac OS XおよびWindowsコンピューター上で、サウンド・メイキングが可能になります。

KRONOSプラグイン・エディター 3を使用すると、DAW (デジタル・オーディオ・ワークステーション) ソフトウェアなどのホスト・アプリケーション上で、KRONOSをプラグイン・インストゥルメントのように扱うことができます。こちらはWindowsのVSTフォーマット、Mac OS XのVSTおよびAUフォーマットに対応しています。

KRONOSエディター/プラグイン・エディター 3は、<https://shop.korg.com/kronos/Support> にて無償でダウンロードすることができます。

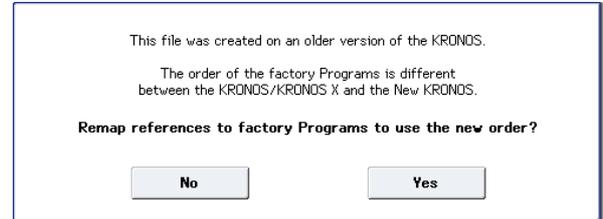
KRONOS/KRONOS Xサウンド・ファイルのファクトリー・プログラムの自動リマップ機能

New KRONOSとKRONOS/KRONOS Xでは、ファクトリー・プリロード・プログラムのバンク、ナンバーの配列が異なります。そのため、KRONOS/KRONOS Xでセーブしたサウンド・ファイルを、New KRONOSでロードした場合、コンビネーション、ソング、ドラム・トラックでファクトリー・プリロード・プログラムを使用している音色が正しく発音しない場合があります。

この機能を使用することで、KRONOS/KRONOS X (ソフトウェア・バージョン2.1 以前) でセーブした.PCG ファイルを判別して、KRONOS/KRONOS XからNew KRONOSのプログラムのバンク、ナンバー配列に自動的に変換してロードします。

 New KRONOSで、KRONOS/KRONOS Xでセーブしたカスタム・サウンド・ファイルやKRONOSサウンド・ライブラリー (KRONOS/KRONOS X用) のファイルをロードする場合に使用してください。

 ソフトウェア・バージョン3.0以上にアップデートしたKRONOS/KRONOS Xでセーブした.PCGファイルにはこの機能は使用できません。



ダイアログの英文

このファイルは、古いバージョンのKRONOSで作成されたファイルです。

ファクトリー・プリロード・プログラムの配列は、KRONOS/KRONOS XとNew KRONOSでは異なります。

New KRONOSのファクトリー・プリロード・プログラムの配列に変換してロードしますか？

[No] [Yes]

1. KRONOS/KRONOS X (ソフトウェア・バージョン2.1以前) でセーブした.PCGファイルをロードしようとしたときに上記ダイアログが表示されます。
 - [Yes]を選択してロード手順を進めると、自動的にプログラム配列を変換してロードします。
 - [No]を選択してロード手順を進めると、プログラム配列を変換しないでロードします。通常のロードです。

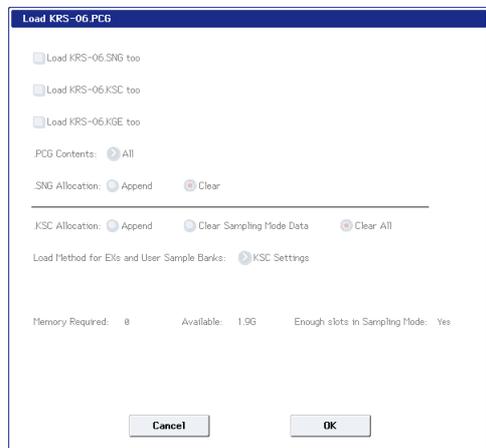
Note: Load .SNG ダイアログまたは Load .KSC ダイアログで、Load .PCG too をチェックし、.PCG Contents を All に設定した場合も、このメッセージが表示され、変換してロードすることができます。

KRONOS/KRONOS X (ソフトウェア・バージョン 2.1 以前) で制作したソング・データを New KRONOS にロードすると

きにも、この方法をご使用ください。ソングのプログラム設定、プログラム・チェンジ・イベントを変換してロードします。ただし、.SNG ファイルのみを単独でロードする場合はこの機能は使用できません。.SNG ファイルと同時に .PCG ファイルをロードしてください。

2. Load .PCGダイアログが表示されます。

ロードするときはOK ボタンを、ロードしないときはCancel ボタンを押します。



Note: リマップ機能を使用するときは、.PCG Contents は設定できません。All でのロードとなります。

Set ListモードのSlot Transpose表示

Set ListモードのPlayページに、スロットのトランスポーズ設定を表示します。

Set Listモードでの演奏中にトランスポーズ設定が一目で確認できる便利な機能です。

EditページのTrans(Transpose)設定が“+0”以外のときに表示します。「▲」はプラス、「▼」はマイナスのトランスポーズ設定を示します。

例：Transposeが+4に設定されているとき、▲4と表示します。

